

東愛宕中学校グローバル教育部門活動報告

2026年7月2日（木）に学校応援プロジェクトグローバル教育チームとして、第一回目のプロジェクトを多摩市立東愛宕中学校の英語部のみなさんで行いました。



中学1～3年生のみなさんに、少しでも多くの英語に触れてもらい、ゲームを通して楽しんでもらうことを意識して行いました。昨年度も参加した学生や、今回初めて参加する学生とともにプロジェクトの準備を進めていきました。

今回は、アイスブレイクとしての「ジェスチャーゲーム」と「ショッピングゲーム」の二つのアクティビティを行いました。ゲームのルール説明から全体を通して英語を使い、中学生と楽しく交流しながら各アクティビティのサポートを行いました。

1. アイスブレイク「ジェスチャーゲーム」

ジェスチャーゲームでは、「Are you ○○ing ○○?」など、英語文法の一つである現在進行形を使ってみることを目的に行いました。前回は「班の中で回答数を競う対抗戦」でしたが、今回は「1つの班が全員で同じジェスチャーをし、他の班がそれを当てる対抗戦」を行いました。楽しみながら自然と英語表現に触れられるよう工夫したことで、大変盛り上がりました。

2. ショッピングゲーム

ショッピングゲームでは、実際の海外での買い物を想定した英語でのやり取りを体験することを目的として、店員とお客さんの役割に分かれて活動しました。学生も中学生とペアになって一緒に買い物を行いました。



今回は、電気屋、楽器屋、スポーツ用品店、八百屋、本屋の5つの店舗を用意しました。お客さんは欲しい商品について店員に質問し、店員は商品の特徴を英語で一言説明します。購入する商品を決めた後は、英語での金銭のやり取りまで行いました。また、実際の通貨とは異なる「チュードル」という単位を用いることで、ゲーム性を高めました。

さらに、単なる買い物のやり取りだけで終わらないよう、「割引チャンス制度」を取り入れました。2回のじゃんけんタイムを設け、1回勝つごとに10チュードル、最大20チュードルの割引を受けられるルールにしました。「Rock, Paper, Scissors」と英語でじゃんけんを行い、勝った生徒には割引を行いました。この割引タイムは特に好評で、各店舗から喜びの歓声上がるなど、活動全体が大いに盛り上がりしました。



初めて見る英単語に苦戦する生徒さんもありましたが、大学生がサポートしながら進めることで、最後には笑顔で活動する姿が見られました。

た。中学生のみなさんにとって英語を実際に使ってコミュニケーションを取る貴重な機会となっただけでなく、大学生にとっても、生徒をサポートしながら英語で交流することのできる有意義な時間となりました。



閉会式では、代表の中学生から「楽しかった」「とても学びにつながった」などの感想があり、私たちも大変嬉しく、貴重な経験となりました。元気いっぱいの中学生のみなさんと交流し、英語を通して一緒に楽しく学ぶことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。東愛宕中学校英語部のみなさん、今回もありがとうございました。

